



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月1日

上場取引所 東

上場会社名 三井化学株式会社

コード番号 4183 URL <http://jp.mitsuichem.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田中 稔一

問合せ先責任者 (役職名) IR・広報部長

(氏名) 小澤 敏

TEL 03-6253-2100

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日

平成25年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	731,604	7.5	10,985	642.7	10,716	—	1,028	—
25年3月期第2四半期	680,517	△10.0	1,479	△94.9	△2,508	—	△15,283	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 18,941百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △17,754百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第2四半期	1.03	—
25年3月期第2四半期	△15.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
26年3月期第2四半期	1,426,215	442,808	27.3	388.58
25年3月期	1,337,995	428,914	28.2	376.18

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 389,167百万円 25年3月期 376,779百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
26年3月期	—	3.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成26年3月期の期末配当は未定とさせていただきます。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	1,550,000	10.2	25,000	482.8	21,000	128.1	1,000	—	1.00

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】6ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	1,022,020,076 株	25年3月期	1,022,020,076 株
26年3月期2Q	20,501,411 株	25年3月期	20,419,265 株
26年3月期2Q	1,001,553,684 株	25年3月期2Q	1,001,757,126 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載の業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。従いまして、実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件その他関連する事項については、【添付資料】5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、以下のとおりネットコンファレンス及び経営概況説明会を開催する予定です。各説明会の様子を説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

- ・平成25年11月1日(金)・・・機関投資家・アナリスト向けネットコンファレンス
- ・平成25年11月20日(水)・・・経営概況説明会

【添付資料の目次】

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
①通期業績予想の修正とその理由について	
②配当予想の修正について	
(4) 当四半期の連結業績予想と実績値との差異に関する情報	6
2. サマリー情報（その他）に関する事項	6
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	13
(5) セグメント情報	13
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	15
(7) 連結の範囲の変更	15
(8) 重要な後発事象	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(全般的状況)

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日の6か月間。以下、「当四半期」といいます。）における事業環境は、依然として、中国や新興国の景気拡大のテンポは鈍化しております。また、日本国内においては、円安や個人消費持ち直しの動きを背景に企業の生産・輸出が回復傾向にあり、景気持ち直しの動きが見られるものの、先行きに不透明感が残る状況が継続しております。

このような情勢のもとで、当社グループの当四半期の業績は以下のとおりとなりました。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
当四半期	7,316	110	107	10
前年同四半期	6,805	15	△25	△153
増減額	511	95	132	163
増減率(%)	7.5	642.7	—	—

売上高は、前年同四半期に比べ511億円増（7.5%増）の7,316億円となりました。これは、主に石化事業及び基礎化学品事業において、販売数量減少の影響が272億円あったものの、ナフサなどの原燃料価格上昇や円安効果による販売価格の改定及び、機能樹脂事業において円安効果による販売価格の上昇などの影響が783億円あったことなどによるものです。

営業利益は、前年同四半期に比べ95億円増（642.7%増）の110億円となりました。これは、主に石化事業の取引条件が改善したことや、機能樹脂事業における販売数量が増加したことなどによるものです。

経常損益は、前年同四半期に比べ132億円改善の107億円の利益となりました。これは、営業利益の増加に加え、為替差損益の改善などにより、営業外損益が前年同四半期に比べ37億円改善したことによるものです。

特別損益は、前年同四半期に比べ66億円改善の24億円の損失となりました。これは、昨年度の岩国大竹工場の爆発火災事故に係る損失の影響がなくなったことなどによるものです。

以上により、**税金等調整前四半期純損益**は、前年同四半期に比べ198億円改善の83億円の利益となりました。

四半期純損益は、法人税等及び少数株主利益を控除した結果、前年同四半期に比べ163億円改善の10億円の利益となり、1株当たり四半期純利益金額は1.03円となりました。

当四半期のセグメント別の状況は、次のとおりです。

(機能化学品)

機能化学品セグメントは、全体として売上高が好調に推移しました。

ヘルスケア材料は、メガネレンズ用材料等の海外需要拡大により、売上高が好調に推移しました。

衛生材料は、国内外の紙おむつ需要が依然旺盛であり、売上高が好調に推移しました。

特殊ガスは、半導体産業を中心とする需要低迷の影響が継続し、売上高が厳しい状況となりました。また、**化成品**は円安による輸出額の増加により、売上高が堅調に推移しました。

触媒は、昨年発生した岩国大竹工場事故による生産停止の影響から脱したことにより、売上高が好調に推移しました。

農業化学品は、海外需要の拡大等により売上高が堅調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ65億円増の778億円、売上高全体に占める割合は11%となりました。また、営業利益は、農業化学品の輸出販売拡大等により、前年同四半期に比べ7億円増の79億円となりました。

(機能樹脂)

機能樹脂セグメントは、全体として売上高が好調に推移しました。

自動車部品及び樹脂改質材用途を中心とする**エラストマー**は、円安効果及び北米を中心とする自動車用途の需要拡大に的確に対応したことにより、売上高が好調に推移しました。

機能性コンパウンド製品は、円安効果及び北米・アジアを中心とする自動車用途の需要拡大に的確に対応したことにより、売上高が好調に推移しました。

特殊ポリオレフィンは、岩国大竹工場事故の影響からの回復、スマートフォン向け販売の拡大及び円安効果により、売上高が好調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ136億円増の810億円、売上高全体に占める割合は11%となりました。また、営業利益は、需要拡大への的確な対応及び円安効果等により、前年同四半期に比べ27億円増の74億円となりました。

(ウレタン)

ウレタンセグメントは、全体として売上高が好調に推移しました。

ポリウレタン材料は、海外での販売数量増加及び円安効果により、売上高が好調に推移しました。

コーティング材料は、海外での塗料用樹脂・熱融着包装材料の販売数量増加及び円安効果により、売上高が堅調に推移しました。

接着材料は、海外での包装用接着剤の堅調な需要拡大及び円安効果により、売上高が好調に推移しました。

成形材料は、国内住宅関連市場の需要拡大により、売上高が堅調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ84億円増の763億円、売上高全体に占める割合は10%となりました。一方、営業損失は、原燃料価格上昇及びポリウレタン材料の海外市況下落の影響を受け、前年同四半期に比べ23億円増の41億円の損失となりました。

(基礎化学品)

基礎化学品セグメントは、全体として売上高が堅調に推移しました。

フェノールは、欧州の財政危機及び中国の景気拡大の鈍化等の影響を受け、売上高が低調に推移しました。

ビスフェノールAは、主要用途であるポリカーボネート樹脂及びエポキシ樹脂向けの需要低迷の影響を受けたものの、原燃料価格上昇に伴う販売価格の上昇により、売上高が増加しました。

高純度テレフタル酸は、中国の景気拡大の鈍化等の影響を受け、販売数量は減少したものの、原燃料価格上昇に伴う販売価格の上昇により、売上高は堅調に推移しました。

ペット樹脂(ポリエチレン テレフタレート)は、原燃料価格上昇に伴う販売価格上昇及び円安効果により、売上高が増加しました。

エチレンオキサイド及びその誘導品は、原燃料価格上昇に伴う販売価格上昇により、売上高が増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ138億円増の2,041億円、売上高全体に占める割合は28%となりました。一方、営業損失は、特にフェノール、高純度テレフタル酸の交易条件が引き続き厳しい状況であり、安価在庫の影響やコスト削減努力等があったものの、前年同四半期に比べ10億円増の80億円の損失となりました。

(石化)

石化セグメントは、全体として売上高が増加しました。

エチレン及びプロピレンは、生産量がいずれも前年同四半期並みでしたが、原燃料価格上昇に伴う販売価格上昇により、売上高が増加しました。

ポリエチレンは、販売数量の減少の影響を受けたものの、原燃料価格上昇に伴う販売価格上昇により、売上高が増加しました。

ポリプロピレンは、国内で販売数量が減少したものの、海外で販売数量が増加したことにより、売上高が堅調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ126億円増の2,413億円、売上高全体に占める割合は33%となりました。また、営業利益は、交易条件の改善により、前年同四半期に比べ83億円増の98億円となりました。

(フィルム・シート)

フィルム・シートセグメントは、全体として売上高が堅調に推移しました。

包装フィルムは、今年度初めから販売価格を改定したことにより、売上高が堅調に推移しました。

電子・光学用フィルムは、スマートフォンを始めとした高付加価値分野における需要拡大及び円安効果により、売上高が堅調に推移しました。

太陽電池用シートは、グローバルには太陽電池封止材市場がやや縮小傾向にあるものの、国内市場が伸長したことと新製品の販路開拓に努めたことにより、売上高が堅調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ18億円増の394億円、売上高全体に占める割合は5%となりました。また、営業損益は、高付加価値製品の拡販、円安効果及びコスト削減努力により、前年同四半期に比べ24億円改善の9億円の利益となりました。

(その他)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ56億円減の117億円、売上高全体に占める割合は2%となりました。また、営業損失は、前年同四半期に比べ6億円改善の6億円の損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産の状況)

当四半期末の**総資産**は、前期末に比べ882億円増の1兆4,262億円となりました。

当四半期末の**負債**は、前期末に比べ743億円増の9,834億円となりました。また、有利子負債は817億円増の5,889億円となりました。この結果、総資産に対する有利子負債の比率は前期末に比べ3.4ポイント増の41.3%となりました。

当四半期末の**純資産**は、前期末に比べ139億円増の4,428億円となり、**自己資本比率**は前期末に比べ0.9ポイント減の27.3%となりました。

以上により、当四半期末の**有利子負債／自己資本比率 (D/Eレシオ)**は、前期末に比べ0.16ポイント増加の1.51となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当四半期の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前期末に比べ240億円増加し、当四半期末には690億円となりました。

・営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によって得られた資金は、前年同四半期に比べ155億円増の345億円となりました。前年同四半期と比べて増加したのは、税金等調整前四半期純利益の増加や在庫の減少等による運転資金の減少などによるものです。

・投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によって使用された資金は、前年同四半期に比べ515億円増の799億円となりました。前年同四半期と比べて増加したのは、Heraeus Kulzer Dental 事業の譲受などによる支出が増加したことなどによるものです。

・財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によって調達された資金は、前年同四半期に比べ691億円増の680億円となりました。前年同四半期と比べて増加したのは、有利子負債の調達を行ったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

①通期業績予想の修正とその理由について

平成25年8月1日に公表いたしました連結通期業績予想につきましては、平成25年11月1日発表の「第2四半期業績予想と実績値との差異、通期業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」にて、以下のとおり修正を行っております。

業績予想の修正にあたり、為替レートは通期99円/\$（10月～3月98円/\$）、国産ナフサ価格は通期64,900円/kl（10月～3月65,000円/kl）を前提としております。

営業利益、経常利益及び当期純利益は、機能樹脂事業及び石化事業において円安の影響等により交易条件の改善が見込まれるものの、ウレタン事業及び基礎化学品事業において原燃料価格の上昇等の影響による交易条件の悪化などにより、前回発表予想数値から減少する見込みです。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	16,000	280	230	50	4.99
今回修正予想(B)	15,500	250	210	10	1.00
増減額(B-A)	△ 500	△ 30	△ 20	△ 40	
増減率(%)	△ 3.1	△ 10.7	△ 8.7	△ 80.0	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	14,062	43	92	△ 81	△ 8.14

(セグメント別の見通し)

セグメント別の見通しは、以下のとおりであります。

(単位：億円)

	売上高								合計
	機能 化学品	機能 樹脂	ウレ タン	基礎 化学品	石化	フィルム・ シート	その他	全社 費用等	
前回発表 予想	1,700	1,830	1,860	4,270	5,280	780	280	—	16,000
今回修正 予想	1,900	1,760	1,720	3,710	5,370	770	270	—	15,500
増減額	200	△70	△140	△560	90	△10	△10	—	△500

(単位：億円)

	営業利益								合計
	機能 化学品	機能 樹脂	ウレ タン	基礎 化学品	石化	フィルム・ シート	その他	全社 費用等	
前回発表 予想	155	105	70	△140	160	△20	5	△55	280
今回修正 予想	165	130	△20	△160	195	△ 5	—	△55	250
増減額	10	25	△90	△ 20	35	15	△5	—	△30

②配当予想の修正について

平成26年3月期の中間配当につきましては、予定通り1株あたり3円の配当と致します。

平成26年3月期の期末配当につきましては、1株あたり3円の配当予想としていましたが、下期の業績が不透明であることから、現段階におきましては未定とさせていただきます。

	年 間 配 当 金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前 回 発 表 予 想	—	3.00	—	3.00	6.00
今 回 修 正 予 想	—	—	—	未定	未定
当 期 実 績	—	3.00			
(ご参考)前 期 実 績 (平成25年3月期)	—	3.00	—	3.00	6.00

(4) 当四半期の連結業績予想と実績値との差異に関する情報

(業績予想数値と実績値との差異)

平成26年3月期第2四半期連結累計期間の業績について、平成25年8月1日に公表しました業績予想と下記のとおり差異が生じております。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 (円)
前 回 発 表 予 想 (A)	7,280	120	120	30	3.00
実 績 値 (B)	7,316	110	107	10	1.03
増 減 額 (B-A)	36	△ 10	△ 13	△ 20	
増 減 率 (%)	0.5	△ 8.5	△ 10.7	△ 65.7	
(ご参考)前年第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期)	6,805	15	△ 25	△ 153	△ 15.26

(差異の生じた理由)

営業利益、経常利益及び四半期純利益は、主にウレタン事業において交易条件が悪化したことなどにより、前回発表予想を下回る結果となりました。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,514	70,133
受取手形及び売掛金	298,411	272,578
たな卸資産	284,643	291,076
繰延税金資産	11,264	11,225
未収入金	66,108	73,466
その他	9,035	11,137
貸倒引当金	△579	△573
流動資産合計	715,396	729,042
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	318,872	323,296
減価償却累計額	△212,415	△216,199
建物及び構築物（純額）	106,457	107,097
機械装置及び運搬具	1,064,514	1,066,699
減価償却累計額	△920,466	△918,214
機械装置及び運搬具（純額）	144,048	148,485
土地	164,190	164,640
建設仮勘定	22,888	27,100
その他	64,600	66,604
減価償却累計額	△55,546	△56,716
その他（純額）	9,054	9,888
有形固定資産合計	446,637	457,210
無形固定資産		
のれん	3,935	51,433
その他	10,700	14,433
無形固定資産合計	14,635	65,866
投資その他の資産		
投資有価証券	98,269	108,750
繰延税金資産	4,129	4,337
その他	59,791	61,914
貸倒引当金	△862	△904
投資その他の資産合計	161,327	174,097
固定資産合計	622,599	697,173
資産合計	1,337,995	1,426,215

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	215,666	197,923
短期借入金	106,685	184,582
1年内返済予定の長期借入金	54,011	52,622
コマーシャル・ペーパー	15,000	—
1年内償還予定の社債	10,000	13,000
未払法人税等	2,963	3,693
役員賞与引当金	23	32
修繕引当金	10,232	9,044
その他	79,328	86,458
流動負債合計	493,908	547,354
固定負債		
社債	97,000	99,000
長期借入金	223,956	239,012
繰延税金負債	16,963	19,756
退職給付引当金	50,855	54,769
役員退職慰労引当金	261	211
修繕引当金	3,579	1,909
環境対策引当金	3,028	2,552
資産除去債務	2,589	3,065
その他	16,942	15,779
固定負債合計	415,173	436,053
負債合計	909,081	983,407
純資産の部		
株主資本		
資本金	125,053	125,053
資本剰余金	91,065	91,065
利益剰余金	180,451	178,469
自己株式	△14,264	△14,278
株主資本合計	382,305	380,309
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,862	17,298
繰延ヘッジ損益	△250	△137
為替換算調整勘定	△18,138	△8,303
その他の包括利益累計額合計	△5,526	8,858
少数株主持分	52,135	53,641
純資産合計	428,914	442,808
負債純資産合計	1,337,995	1,426,215

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	680,517	731,604
売上原価	597,127	636,239
売上総利益	83,390	95,365
販売費及び一般管理費	81,911	84,380
営業利益	1,479	10,985
営業外収益		
受取利息	124	138
受取配当金	1,493	1,644
持分法による投資利益	1,078	1,484
為替差益	—	152
その他	1,572	2,092
営業外収益合計	4,267	5,510
営業外費用		
支払利息	3,358	3,488
為替差損	2,622	—
その他	2,274	2,291
営業外費用合計	8,254	5,779
経常利益又は経常損失(△)	△2,508	10,716
特別利益		
固定資産売却益	398	21
特別利益合計	398	21
特別損失		
固定資産処分損	1,550	841
固定資産売却損	57	16
減損損失	958	—
関連事業損失	930	23
投資有価証券評価損	794	—
事業撤退損	—	1,523
爆発火災事故に係る損失	4,605	—
契約解除金	480	—
特別損失合計	9,374	2,403
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△11,484	8,334
法人税等	3,699	4,789
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△15,183	3,545
少数株主利益	100	2,517
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△15,283	1,028

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△15,183	3,545
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,616	4,558
繰延ヘッジ損益	86	119
為替換算調整勘定	635	7,621
持分法適用会社に対する持分相当額	324	3,098
その他の包括利益合計	△2,571	15,396
四半期包括利益	△17,754	18,941
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△18,294	15,412
少数株主に係る四半期包括利益	540	3,529

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△11,484	8,334
減価償却費	19,904	21,862
のれん償却額	773	1,162
減損損失	958	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,217	△282
前払年金費用の増減額(△は増加)	1,620	1,498
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△43	20
修繕引当金の増減額(△は減少)	△1,667	△2,858
環境対策引当金の増減額(△は減少)	△371	△476
受取利息及び受取配当金	△1,617	△1,782
支払利息	3,358	3,488
持分法による投資損益(△は益)	△1,078	△1,484
投資有価証券売却損益(△は益)	15	△3
投資有価証券評価損益(△は益)	794	—
固定資産除却損	382	335
固定資産売却損益(△は益)	△341	△5
売上債権の増減額(△は増加)	23,937	33,903
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,466	3,805
仕入債務の増減額(△は減少)	△18,431	△27,147
その他	14,555	△2,014
小計	22,581	38,356
利息及び配当金の受取額	2,862	2,086
利息の支払額	△3,396	△3,886
法人税等の支払額	△2,998	△2,035
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,049	34,521
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△20,094	△23,205
有形固定資産の売却による収入	838	138
無形固定資産の取得による支出	△791	△758
長期前払費用の取得による支出	△2,763	△617
投資有価証券の取得による支出	△4,054	△5,732
投資有価証券の売却及び償還による収入	66	107
事業譲受による支出	—	△50,203
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,316	—
その他	760	338
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,354	△79,932

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	20,482	71,005
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△8,700	△15,000
長期借入れによる収入	17,442	27,191
長期借入金の返済による支出	△13,337	△15,033
社債の発行による収入	—	15,000
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
少数株主からの払込みによる収入	403	681
自己株式の売却による収入	4	3
自己株式の取得による支出	△10	△22
配当金の支払額	△3,005	△3,005
少数株主への配当金の支払額	△4,288	△2,757
その他	△58	△60
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,067	68,003
現金及び現金同等物に係る換算差額	328	1,414
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△10,044	24,006
現金及び現金同等物の期首残高	54,564	44,996
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	61	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	44,581	69,002

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

第1四半期連結会計期間より、機能製品群への事業ポートフォリオの変革に向けて、事業セグメントの順序を変更しております。

この変更に伴い、前年同四半期連結累計期間の報告セグメントの順序を変更しております。

前第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注)	合計
	機能 化学品	機能 樹脂	ウレ タン	基礎 化学品	石化	フィルム・ シート	計		
売上高									
外部顧客への売上高	71,339	67,417	67,899	190,292	228,641	37,641	663,229	17,288	680,517
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,548	8,250	2,074	12,815	65,273	922	91,882	28,140	120,022
計	73,887	75,667	69,973	203,107	293,914	38,563	755,111	45,428	800,539
セグメント利益又は セグメント損失(△)	7,159	4,655	△1,792	△7,008	1,450	△1,455	3,009	△1,115	1,894

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,009
「その他」の区分の損失(△)	△1,115
セグメント間取引消去等	360
全社費用(注)	△775
四半期連結損益計算書の営業利益	1,479

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属させることが適当でない一般管理費等であります。

当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							その他 (注1)	合計
	機能 化学品 (注2)	機能 樹脂	ウレ タン	基礎 化学品	石化	フィルム・ シート	計		
売上高									
外部顧客への売上高	77,842	80,971	76,282	204,064	241,297	39,377	719,833	11,771	731,604
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,225	8,793	1,623	13,338	75,278	1,304	102,561	29,493	132,054
計	80,067	89,764	77,905	217,402	316,575	40,681	822,394	41,264	863,658
セグメント利益又は セグメント損失(△)	7,859	7,367	△4,146	△7,965	9,790	919	13,824	△516	13,308

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他関連事業等を含んでおります。

2. 当第2四半期連結累計期間において、平成25年6月30日付けで、Heraeus Kulzer Dental 事業の譲受を完了したことに伴い、「機能化学品」セグメントの資産が84,358百万円増加しております。なお、資産の増加額は、入手可能な合理的な情報に基づき暫定的に算定した金額であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	13,824
「その他」の区分の損失(△)	△516
セグメント間取引消去等	△11
全社費用等(注)	△2,312
四半期連結損益計算書の営業利益	10,985

(注) 全社費用等は、主に報告セグメントに帰属させることが適当でない一般管理費及び新事業に係る研究開発費等であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント測定方法の一部変更)

平成25年度より、新事業・新製品開発テーマの創出と確実な事業化を図るため、研究開発体制を見直しております。それに伴い、新事業に係る研究開発費等については、従来、各報告セグメントに配賦しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、全社費用等に計上することに変更いたしました。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益は、「機能化学品」については348百万円、「機能樹脂」については244百万円、「石化」については329百万円、「フィルム・シート」については165百万円、それぞれ増加しております。また、セグメント損失は、「ウレタン」については191百万円、「基礎化学品」については245百万円、それぞれ減少しております。一方、上記報告セグメントへの配賦費用の減少に伴い、全社費用等は1,522百万円増加しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「機能化学品」において、Heraeus Kulzer Dental 事業の譲受をしたことに伴い、のれんを計上したことにより、同セグメントののれんの金額が前連結会計年度末に比べて、48,071百万円増加しています。

なお、のれんの増加額は、入手可能な合理的な情報に基づき暫定的に算定した金額であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(7) 連結の範囲の変更

平成 25 年 6 月に Heraeus Kulzer Dental 事業の譲受をしたことに伴い、当第 2 四半期連結会計期間末において、エムシーデンタルホールディングスインターナショナル合同会社、他 23 社を連結子会社の範囲に含めております。

(8) 重要な後発事象

(重要な連結範囲の変更)

当社は、平成 25 年 10 月 31 日、タイの合弁会社である Siam Mitsui PTA Co., Ltd. を、当社所有の株式持分の一部を譲渡することにより、連結子会社から持分法適用関連会社に異動することを決定いたしました。その結果、平成 25 年 10 月 1 日以降、同社の経営成績は、連結損益計算書において持分法による投資損益として反映されます。

（ 参 考 ）

平成26年3月期 第2四半期連結決算概要

平成25年 11月1日
三井化学株式会社
(単位：億円)

1. 損益状況

	平成25年3月期 第2四半期	平成26年3月期 第2四半期	増 減	平成25年 3月期実績	平成26年3月期業績予想 (11/1発表値)	
					通 期	増 減
売 上 高	6,805	7,316	511	14,062	15,500	1,438
営 業 利 益	15	110	95	43	250	207
経 常 利 益	△ 25	107	132	92	210	118
当 期 純 利 益	△ 153	10	163	△ 81	10	91
為 替 レ ー ト 円/US\$	79	99	20	83	99	16
国産ナフサ価格 円/KL	55,200	64,700	9,500	57,500	64,900	7,400

2. セグメント別 売上高・営業利益

・売上高

(単位：億円)

	平成25年3月期 第2四半期	平成26年3月期 第2四半期	増 減			平成25年 3月期実績	平成26年3月期業績予想 (11/1発表値)	
			計	増 減			通 期	増 減
				数量差	価格差			
機能化学品	713	778	65	26	39	1,496	1,900	404
機能樹脂	674	810	136	46	90	1,347	1,760	413
ウレタン	679	763	84	37	47	1,462	1,720	258
基礎化学品	1,903	2,041	138	△ 196	334	4,017	3,710	△ 307
石 化	2,287	2,413	126	△ 143	269	4,690	5,370	680
フィルム・シート	376	394	18	14	4	748	770	22
そ の 他	173	117	△ 56	△ 56	-	302	270	△ 32
合 計	6,805	7,316	511	△ 272	783	14,062	15,500	1,438

・営業利益

(単位：億円)

	平成25年3月期 第2四半期	平成26年3月期 第2四半期	増 減				平成25年 3月期実績	平成26年3月期業績予想 (11/1発表値)	
			計	増 減				通 期	増 減
				数量差	交易条件	固定費他			
機能化学品	72	79	7	7	8	△ 8	124	165	41
機能樹脂	47	74	27	27	11	△ 11	84	130	46
ウレタン	△ 18	△ 41	△ 23	△ 1	△ 13	△ 9	△ 26	△ 20	6
基礎化学品	△ 70	△ 80	△ 10	△ 15	12	△ 7	△ 189	△ 160	29
石 化	15	98	83	10	71	2	77	195	118
フィルム・シート	△ 15	9	24	6	2	16	△ 33	△ 5	28
そ の 他	△ 12	△ 6	6	-	-	6	△ 6	-	6
全社費用等	△ 4	△ 23	△ 19	-	-	△ 19	12	△ 55	△ 67
合 計	15	110	95	34	91	△ 30	43	250	207

第1四半期連結会計期間より、機能製品群への事業ポートフォリオの変革に向けて、事業セグメントの順序を変更しております。

3. 特別損益主要内訳

(単位：億円)

	平成25年3月期 第2四半期	平成26年3月期 第2四半期	増 減	平成25年 3月期実績	平成26年3月期業績予想 (11/1発表値)	
					通 期	増 減
資 産 売 却 益	4	0	△ 4	17	0	△ 17
環境対策引当金戻入額	-	-	-	33	-	△ 33
固定資産処分・売却損	△ 16	△ 9	7	△ 45	△ 40	5
減 損 損 失	△ 10	-	10	△ 56	-	56
関 連 事 業 損 失	△ 9	△ 0	9	△ 41	△ 0	41
投資有価証券評価損	△ 8	-	8	△ 8	-	8
受 取 保 険 金	-	-	-	55	-	△ 55
爆発火災事故に係る損失	△ 46	-	46	△ 49	-	49
そ の 他	△ 5	△ 15	△ 10	△ 6	△ 30	△ 24
合 計	△ 90	△ 24	66	△ 100	△ 70	30

4. 貸借対照表

（単位：億円）

	資産の部				負債及び純資産の部		
	H25/3末	H25/9末	増減		H25/3末	H25/9末	増減
流動資産	7,154	7,290	136	有利子負債	5,072	5,889	817
有形固定資産	4,466	4,572	106	その他負債	4,019	3,945	△ 74
無形固定資産	146	659	513	自己資本	3,768	3,892	124
投資等	1,614	1,741	127	少数株主持分	521	536	15
資産計	13,380	14,262	882	負債純資産計	13,380	14,262	882
				(D/E) (%)	(1.35)	(1.51)	(0.16)

5. キャッシュ・フロー

（単位：億円）

	平成25年3月期 第2四半期			増減	平成25年 3月期実績			平成26年3月期 業績予想 (11/1発表値)		
	平成25年3月期 第2四半期	平成26年3月期 第2四半期	増減		平成25年 3月期実績	平成26年3月期 業績予想 (11/1発表値)	増減			
営業キャッシュ・フロー	190	345	155	185	550	365				
投資キャッシュ・フロー	△ 284	△ 799	△ 515	△ 581	△ 1,200	△ 619				
（フリーキャッシュ・フロー）	（△ 94）	（△ 454）	（△ 360）	（△ 396）	（△ 650）	（△ 254）				
財務キャッシュ・フロー	△ 11	680	691	273	550	277				
その他	5	14	9	27	-	△ 27				
現預金等増減	△ 100	240	340	△ 96	△ 100	△ 4				
現預金等残高	446	690	244	450	350	△ 100				

6. 主要指標

		平成25年3月期 第2四半期			増減	平成25年 3月期実績			平成26年3月期 業績予想 (11/1発表値)		
		平成25年3月期 第2四半期	平成26年3月期 第2四半期	増減		平成25年 3月期実績	平成26年3月期 業績予想 (11/1発表値)	増減			
研究開発費	億円	151	153	2	320	340	20				
減価償却費	億円	207	230	23	438	490	52				
設備投資額	億円	241	768	527	566	1,160	594				
（企業買収除く）	億円	(217)	(208)	(△ 9)	(523)	(600)	(77)				
金融収支	億円	△ 17	△ 17	-	△ 31	△ 40	△ 9				
期末有利子負債残高	億円	4,708	5,889	1,181	5,072	5,750	678				
期末従業員数	人	13,011	14,431	1,420	12,846	14,700	1,854				
連結会社数	社	106	137	31	110	135	25				

7. 当期のトピックス

- ・ Heraeus Dental事業 : Heraeus Holding GmbH(ドイツ)の歯科材料事業を譲受(平成25年6月)
- ・ DENTCA社(米国) : CAD/CAMシステムを用いた入れ歯(デンチャー)の開発・製造・販売会社の株式を増資引受により取得
(平成25年6月)
- ・ 台塑三井精密化学有限公司(中国) : 電解液の製造・販売・研究会社 設立(平成25年9月)